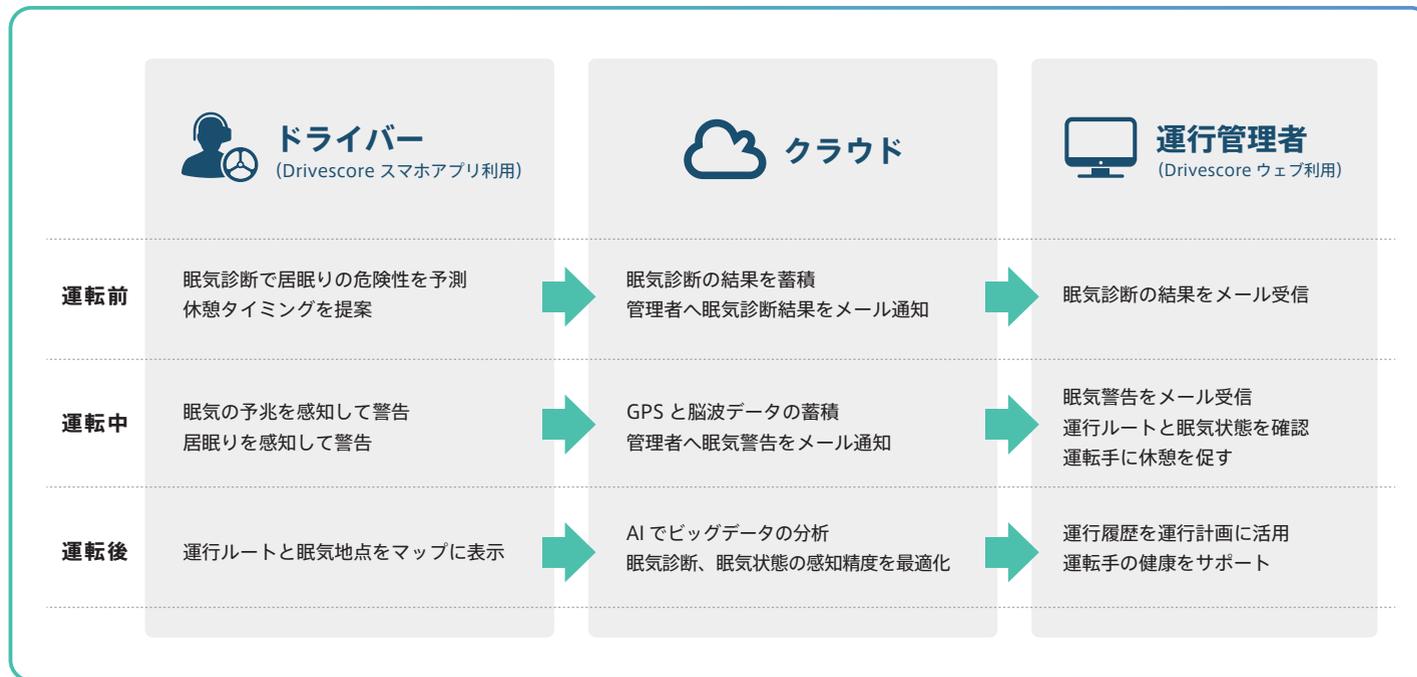


Drivescoreサービスフロー



システム動作要件

■脳波センサー

- ・ NeuroSky 社製
MindWave Mobile Plus

■スマホアプリ

- ・ iPhone SE 以上
- ・ iOS 10 以上
- ※脳波センサーと接続するため、Bluetooth 接続を行います。

■管理サイト

Chrome の最新バージョンを推奨します。
その他のブラウザは動作を保障しません。

お問い合わせ

Drive Score®

<http://www.drivescore.jp/>
drivescore@kenpalinc.com

眠気感知ドライブサポートシステム

Drive Score®

(特許第 6132327 号 / 国際特許出願中)

脳波から眠気を感じし、
居眠り運転を
防止するサービス。



※画面は開発中のものです。

Kenpal Inc.

Drivescore 3つの特徴

ドライバーの居眠りを先回りして感知

Drivescore は、脳波センサーとスマホアプリを利用して、運転手の脳波を計測します。脳波データを分析して眠気の状態変化を感知し、居眠り運転を予防します。

運転前の眠気診断で居眠りの危険性を予測し、休憩の目安を提案します。運転中は、居眠りだけでなく、眠気の予兆を早期にキャッチし、運転手に早めの休憩を促します。運行管理者にもメールで通知します。



運転手をサポートし、安全運転に導く

管理サイトからは、ほぼリアルタイム*1で運転手の運行ルートと眠気状態が閲覧できます。管理者は運行状況から最適なタイミングで運転手とコミュニケーションを取り、休憩を促すことができます。過去データを閲覧し、眠気の発生が多い運転手は、生活習慣などに問題を抱えているかもしれません。生活習慣の見直しを促すことができます。また、運転手の特徴に合わせた運行計画を立てやすくなります。

*1: 運転中にスマホアプリがインターネットに接続している必要があります。



人工知能(AI)で感知精度を向上

運転中のGPSと脳波データをクラウドに蓄積し、AIがビッグデータから眠気感知の傾向を分析します。運行ルート、時間帯などの条件を加味した予測が可能になり、個人差も含めた感知精度の向上が図れます。



Kenpal Inc.